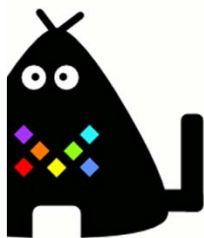


緊急討議 東日本大震災  
被災支援とMLAK—いまわたしたちにできることは

saveMLAK

# 発言2 Mからの報告



山村真紀  
(ミュージアム・サービス研究所)

日時 2011年4月23日(土) 13:00 - 14:30  
場所 学習院大学(目白) 南3号館203教室

# savemuseumからsaveMLAKへ

2011/3/11 東日本大震災

3/12 savelibrary開設

savemuseum開設

3/13 savearchives 開設

3/16 MLAスカイプ会議

savekominkan開設

4/4 第1回Meet Up →「saveMLAK」へ

4/11 プレスリリース saveMLAK始動

4/19 第2回saveMLAK Meet Up

4/23 緊急討議「東日本大震災

被災支援とMLAKーいまわたしたちにできることは」

4/24 第1回saveMALKうきうきウィキ祭り

saveMLAK

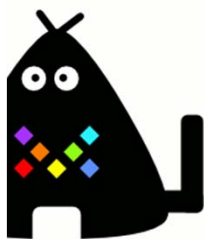


# ミュージアムの課題:リストがない！

2011年3月18日時点での安否確認情報(最大北海道～中部)

- 日本博物館協会 57
- 全国美術館会議(第2報) 114
- 美術館連絡会議 78
- 全国科学博物館協議会加盟館 94
- 天文施設安否確認シート 360
- 日本プラネタリウム協議会 96
- 日本動物園水族館協会 32
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 96
- 全国文学館協議会 65

saveMLAK



→被災地のミュージアムリストがほしい！！！！

# 2011年3月18日現在ミュージアム数一覧

		インターネットミュージアム	全国博物館総覧	日本博物館協会発行の全国博物館園職員録(平成22年度)	日本博物館協会	全国美術館会議(第2報)	美術館連絡会議	全国科学博物館協議会加盟館	天文施設安否確認シート	日本プラネタリウム協議会	日本動物園水族館協会	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	全国文学館協議会	
		日付	掲載数		3月18日	3月18日		3月13日	3月18日		3月18日	2009年5月末日名簿		
北海道	523	北海道	523			被災無	7	6	33	3		2	7	
東北	768	青森	106	58			6	1	7	4	1	3	2	
		岩手	132	85	70	19	4	6	9	2	1		2	
		宮城	151	82	53	22	4	12	3	4	2	2	2	
		秋田	113	71			3	3	3	6	2	2	4	
		山形	116	76			8	12	1	10	3	1		2
		福島	150	81	56	16	4	12	5	21	3	1	1	2
関東	1645	茨城	140	74	61		9	32	5	17	2	2	3	1
		栃木	163				8	32	4	10	1	3	4	
		群馬	181				6	32	4	12	5	2	1	4
		埼玉	169				5	32	10	26	7	3	5	3
		千葉	183				8	32	6	16	5	2	4	1
		東京	557				情報整理中	32	23	36	15	8	28	16
		神奈川	252				情報整理中	32	12	16	9	3	14	2
中部	1931	新潟	213				7	27	5	17	1		2	2
		富山	129				6	27		8	2		1	1
		石川	158				5	27		10	5		2	5
		福井	106				2	27		5	1		2	1
		山梨	142				7	27		26	2			2
		長野	443				22	27		26	5		3	4
		岐阜	231					27		11	4		5	1
		静岡	249					27		18	5	1	3	4
		愛知	260					27		16	8		7	1
	4867	合計	4867	527	240	57	114	78	94	360	96	32	96	65
												* 影響を受けている施設のみを記載		

# saveMLAK: Mの現在と今後

現在: 被災地を中心に

- savemuseum (Twitter、メール、口コミ情報)
- 天文施設安否確認シート 渡部義弥氏(大阪市立科学館)
- ミュージアム震災被害状況・予測一覧(青森・岩手・宮城・福島・茨城)木下達文氏(京都橘大学・准教授)

saveMALK内 M掲載数825件

今後

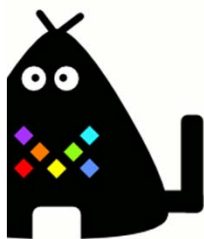
- インターネット・ミュージアムより(北海道～中部)4867件
- 学芸員より寺社仏閣リスト約550件
- M関連協会の安否情報の集約希望(協力・連携)  
→被災地での現地調査: 被災施設の負担軽減、MLAK情報集約、共通調査票

その他

- 埋蔵文化センター(埋蔵文化遺産)・・・文化財レスキュー
- パブリックアート など

→これらの情報を今後どう活用するか？

saveMLAK



# saveMLAKのとまどいと可能性

- MLAKの文化の違い

例：美術館は被災情報の公開が難しい  
→説明をすることで、互いを知るチャンス

- M内での文化の違い

例：「博物館」か「博物館・美術館」か  
博物館・美術館の文化財・美術品と動物園・水族館など  
→LAKがいることで議論がタコツボ化しない

- 被災地におけるMLAK連携のサポート
- saveMLAK(の情報)を、どう活用するか
- 行政、民間企業、関連学協会とのゆるやかなネットワーク  
それぞれの強みを活かした被災地への支援活動

以上

saveMLAK

